

## 第2回富士見市環境審議会会議録

日 時	平成29年1月17日（火）			開 会	午後1時30分
				閉 会	午後2時50分
場 所	市長公室	出席者数	委員定数15名中 出席者14名		
出席者	委 員	澤田会長、木内委員、齊藤委員、中村委員、横山委員、京谷委員、 千種委員、守山委員、関根委員、羽石委員、大谷木委員、 細田委員、高橋委員、戸塚委員 ※欠席 須田副会長			
	事 務 局	【事務局職員】 益子環境課長、落合環境課副課長、會田環境課主査			
配付資料	1 次第 2 第3次富士見市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（案） 3 環境審議会委員からの意見に対する市の考え方				
公開・非公開	公開（傍聴 0名）				

内 容	
第2回環境審議会	
1 開 会	環境課長
2 議事	<p>（1） 第3次富士見市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）について</p> <p>（会 長）（1）富士見市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）について審議いたします。先般、委員の皆様から頂きました意見に対する市の考え方について事務局より説明願います。</p> <p>（事務局）「環境審議会委員からの意見に対する市の考え方」により説明。</p> <p>（委 員）市内小中学校及び市役所に勤務する職員の超過勤務について、電気の使用量にも関係するので削減させる必要がある。</p> <p>（事務局）計画の中で、事務の効率化や「リフレッシュデー」の取組を推進することで超過勤務の削減に努めたいと考えています。</p> <p>（委 員）富士見市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）は、（事務事業編）を含めてい</p>

る計画と考えるとよいのか。また、P 1 1 の区域施策編の 1 1. 4 % と事務事業編の 9. 2 2 % の関係についてより詳しい説明が必要であると思う。

(事務局) 区域施策編は事務事業編を含めた計画であると考えています。

区域施策編の 1 1. 4 % 削減は、平成 2 5 年度～平成 3 4 年度の 1 0 年間の削減目標値で、事務事業編の 9. 2 2 % 削減は、平成 2 9 年度～平成 3 3 年度の 5 年間の削減目標値です。9. 2 2 % の削減目標値の算出については、第 2 次計画の平成 2 2 年度を基準年度として、平成 2 4 年度から平成 3 3 年度の 1 0 年間に於いて、区域施策編で定めた前年度比 - 1 % 削減による削減目標値を求め、第 3 次計画の基準年度となる平成 2 7 年度の実績値からその削減目標値を達成するために必要な削減率を求め定めています。

(委員) そのあたりの経過を計画の中に記載する必要があるのではないのでしょうか。また、1 1. 4 % と 9. 2 2 % の関係性をわかりやすく記載する必要がある。

(事務局) 削減率の関係性については、P 1 1 の記載を修正したいと考えています。

(委員) 第 2 次計画では、- 5. 8 5 % 削減が難しい状況であるのに、第 3 次計画で - 9. 2 2 % 削減は達成できるのか。9. 2 2 % の削減を進めるための根拠を示す必要があるのではないかと。

(事務局) 平成 2 2 年度を基準年度として算定した削減目標は、区域施策編との整合を図った目標であるため、達成に向けた取組を実行する。また、削減効果の大きいものとしては、公共施設の LED 化やボイラー改修等による削減を見込んでいる。削減の根拠等は、P 1 0 の評価と課題の中に記載したいと思えます。

(委員) 職員研修の講師については、環境課職員が講師をしているのか。または、外部講師なのか。

(事務局) 現状は、環境課の職員で対応しているが、今後は外部講師も検討したいと思えます。

(委員) 回帰分析法により検証を行ったと記載しているが、回帰分析法についての説明を記載した方がよい。

(事務局) 説明を追記します。

(委員) 職員が計画に納得して参画するようにしっかりと進めてもらいたい。

(委員) どのくらいの職員が、計画を理解しているのか。

(事務局) 全庁的に計画の周知等情報の提供は行なっています。

(委員) P D C A サイクルをいかに回すかが重要である。

(委員) 計画への理解や目標に対する達成状況等を把握することは重要なことであるので、職員研修などの機会を利用して効果測定するための方法盛り込んだ方がよい。

(委員) 第 2 次計画においての平成 2 4 年度の実績を分析し、削減に繋がった取り組みを組み込んだ方がよい。

(事務局) 各委員の意見をもとにマニュアル等の策定を進めたいと思えます。また、平成 2 4 年度の実績については、P 5 ～ P 8 の使用状況で記載しているが、震災等の影響もあったと考えています。

(委員) 多くの事業所において、平成 2 3 年度～平成 2 4 年度については、震災の影響による節電の影響により温室効果ガスの削減に繋がった経緯はあると思う。

(2) その他 なし

(3) 次回開催予定について

(日時) 平成29年3月28日 午後2時～

(場所) 市長公室

3 閉会 環境課長